

# 浦谷建設株式会社 環境行動計画書

平成 21 年 9 月 30 日

## 取 組 方 針

浦谷建設株式会社は、建設技術を磨き創意工夫で品質の向上を図り、継続的改善の実施と顧客満足の上を目指し、信頼されるサービスを提供し活動しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（紙使用量の削減）
- ② 現場、事務所における燃料の削減・リサイクルの推進
- ③ 重機燃料使用量の削減
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成 21 年 9 月 30 日

浦谷建設株式会社

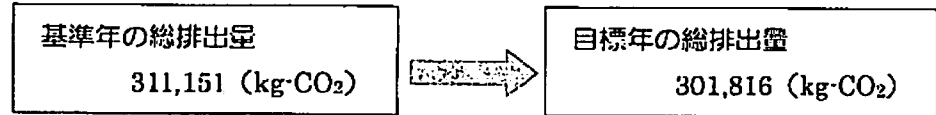
代表取締役

浦谷 宏信

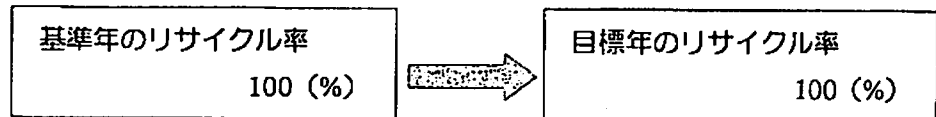
### 3 環境負荷の低減目標

22 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 20 年です。)

【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 3%削減する

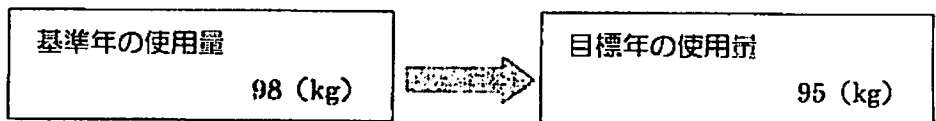


【目標 2】 産業廃棄物のリサイクル率の維持



【目標 3】 一般廃棄物の排出量は今後データを把握し、3%削減する

【目標 4】 コピー用紙の使用量を 3%削減する



### 4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ 重機燃料の使用量を削減する

【取組 2】 産業廃棄物のよい適正管理とリサイクル率の 100%維持

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する
- ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

**【取組3】 コピー用紙使用量の削減**

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 罫類、資料の電子データ化を進める

**【取組4】 ごみ排出量の削減**

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 詰め替え可能な製品・簡易包装の商品を優先的に選んで購入する
- ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

**【取組5】 その他の取組**

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 緊急時以外は大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない
- ・ 社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

**5 環境行動計画の実施体制**

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、半期ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。